

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら 相模原中央教室		
○保護者評価実施期間	令和8年1月1日		令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数) 47
○従業者評価実施期間	令和8年1月1日		令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが充実している。 利用児童の当日の気持ちや様子で、代替プログラムを柔軟に実行できる。	日々職員間で活動プログラムについて話し合っている。 月に1回、活動プログラムのための会議を行っている。 5領域をバランスよく取り入れたプログラムを実施している。 保護者からの要望にも柔軟に対応している。	個々の利用児童の特性や課題に合ったプログラムを提供できるように職員間での話し合い等増やしていき、職員のスキルアップのため、様々な研修等にも参加していきたいと思います。
2	職員間のコミュニケーションが良好で、支援についての話し合いや相談がしやすい体制になっている。	職員間での情報共有を行い、どの職員もスムーズに療育支援を行うことが出来るよう心掛けている。	普段からの職員間の情報共有や支援の振返りにより、支援の質を高めていきたいと思います。
3	児童発達支援と放課後等デイサービスが同一事業所内にあるため、移行がスムーズに行われている。	慣れた先生・設備や教室で過ごすことで、利用児童が安心して過ごせるように配慮している。 土曜・日曜日は、幅広い年齢の児童同士が関わることが出来る。	利用児童が不安なくスムーズに移行できるような活動プログラムを増やしていきたいと思います。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所での活動の様子や避難訓練等の実施について保護者への伝達が不十分なことがある。	事業所での活動の様子等は写真やお手紙でお知らせしているが、頻度が少ないため伝えきれていない。	ホームページやSNS等による情報発信に取り組んでいきたいと思います。 契約時だけでなく、定期的に保護者に周知していきたいと思います。
2	関係機関との連携や地域交流が不十分である。	保護者からの要望や相手先からの要請があった場合等受け身の対応が多い。	関係機関や保護者等にも積極的に働きかけ、連携した支援を実施していきたいと思います。
3			